

- ✓ 以下の診療情報提供書の病歴記載フォーマット(固形がん)をご活用ください。
- ✓ 日常診療と勝手が異なることにご留意ください。記載のあるものはエキスパートパネル検討や C-CAT 入力に関わる項目として全て必要ですし、逆に記載のないものは原則不要です。
- ✓ 詳細は記載例もご参考ください。

【臨床診断】

【病理組織診断】 (コンパニオン診断:)(病理診断日:)

【初回治療前のステージ】

【登録時転移巣】

【生活歴】 喫煙歴: 多飲酒歴:

【既往歴】

重複がん:なし 多発がん:なし 既知の遺伝性疾患:なし

【家族歴】

【現病歴】

202 を主訴に受診

202

→ と診断

202

(最良総合効果: 中止理由: G3 以上の非血液学的有害事象: [202, G3])

202

(最良総合効果: 中止理由: G3 以上の非血液学的有害事象: [202, G3])

【臨床診断】 非小細胞肺癌

【病理組織診断】 adenocarcinoma, NOS (病理診断日：2025/06/01)

病理検体提出日

(病理診断確定日ではありません)
(病理レポート添付で代用可です)

【コンパニオン診断】 コンパクトパネル陰性, PD-L1 5%

判明しているバイオマーカーならびに提出した検査種を記載ください。
(検査結果レポート添付で代用可です)

【初回治療前のステージ】 IV

【登録時転移巣】 リンパ節、肝臓

【生活歴】 喫煙歴：あり 多飲酒歴：なし

該当ある場合のみ
詳記ください。

【既往歴】 COPD

重複がん：なし 多発がん：胃癌 (2015年) 既知の遺伝性疾患：なし

【家族歴】 父：大腸癌

セカンドオピニオンではありませんので、
これ以上の詳細な現病歴は不要です。

【現病歴】

2025/05/22 健診の胸部Xpで肺異常陰影を指摘され、前医受診。

2025/06/01 気管支鏡検査 -> adenocarcinomaを検出

-> 全身精査の結果、cT3N1M1 (HEP), cStageIVBと診断。コンパクトパネル陰性。

2025/06/20-2026/01/31 TC+Pembrolizumab -> Pembro維持療法

(最良総合効果：PR 中止理由：PD (2026/03/27) G3以上の非血液学的有害事象：FN [2025/07/03, G3])

2026/02/21- DTX

(最良総合効果：SD 中止理由：(継続中) G3以上の非血液学的有害事象：なし

ただし、がん薬物療法に関して、以下の
情報は必須となります。

- 治療開始日、治療終了日
- 最良総合効果：CR/PR/SD/PD/NE
- 中止理由：腫瘍増悪 (確認日) /有害事象 (事象名) /その他 (自由記載)
- CTCEA Grade 3以上の**非**血液学的有害事象の有無 (発症日、Grade]

これらの情報が含まれていれば、カルテ記事のコピペでも結構です
(スペルアウトや必要情報の抜粋など、特別な編集は不要です)。